

3年間をふりかえって -3年学年PTAのみなさまより-



私たちが“ONE TEAM”

岩月 和美さん

私が、学年PTA代表として3年間活動できたのは、時間を共にしてくれた「Team AIMELO」の仲間のおかげです。決して順風満帆ではありませんでした。仕事で活動に参加できない私をいつも笑顔で協力しサポートしてくれた仲間がいたので、いくつかの行事を成功して終える事ができました。

またこの活動を通じ、先生方の本気・情熱・愛情を間近で感じる事ができました。子供が学校が楽しいと言い、いつも笑顔で過ごせるのは先生方のおかげだと本当に感謝です。

この3年間、仲間と先生方と過ごし、積み重ねた時間があったからこそ、私達「Team AIMELO」は“ONE TEAM”になりました。本当に貴重な経験・楽しい時間をありがとうございました。

素敵な出会い

都築 久枝さん

「こんなに楽しい活動に参加しないのはもったいない。」娘の担任の先生からの一言に心が動き参加した学年PTAでした。PTA活動を通して個性的で素敵な仲間に出会い、楽しい3年間で過ごすことができました。学園祭、オータムフェスティバルで気分は学生時代に戻り、私学助成金活動では、助成金について考える良い機会となりました。PTA1日研修、署名提出など様々な体験ができたのも良い思い出です。多くの方々の協力があってこそこのPTA。支えてくださった皆様に心より感謝いたします。素敵な出会いと楽しい時間をありがとうございました。

安城学園最高!!

梅村 久美子さん

娘がどうしても安城学園がいいと入学して早3年、もう卒業だなんて…私は学年PTAと学校PTAを同時に受けてしまい、学年PTAは1年限りと思っていました。気付けば3年も続けてしまいました。楽しかったんです!この年になってこんなに仲の良い友達ができるなんて。模擬店・PTA1日研修・署名活動、歌やダンスまで練習して挑んだ1泊研修の宴会余興では、納得した評価が得られず、悔しい思いをしました。まるで部活動のようでした。娘だけではなく私も学校生活を思いっきり楽しませてもらいました。

最後にPTA活動をサポートして下さった先生方、親しくしていただきありがとうございました。安城学園は最高でした!



初夏のPTA一日研修



体育祭応援



PTA総会



ケーキ作り



クラフト作り



PTA学園祭集合写真



PTA沖縄インターハイ応援



PTA役員会



秋のPTA一日研修(徳川園)

思い合う心



PTA 副会長

松原 真樹

3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

生徒の皆さんと触れ合うたびに、高校生は、こんなにもすごい力を持っているのかと驚かされます。部活動や自主活動はもちろんのこと、他人に対する思いやりや行動力は、校内だけでなく街中でも見かけることがあり、とても感心しています。

私も皆さんを見習って、人との出会い、ふれあいを大切にしようと思います。

また、伝統を重んじながら、新しいことにもチャレンジしていきたいと思っておりますので、今後ともPTA活動にご協力お願いいたします。



PTA役員座談会

3年間のPTA活動を振り返って

お子さんとともに、安城学園高等学校で活動されてきたPTA役員の皆さん。「卒業」にあたって、この3年間の振り返りさまざまな思い出や感想を語っていただきました。

参加メンバー

会 長	杉浦 修二さん	天野 顕子さん
副会長	加藤 嘉津代さん	山本 千枝子さん
副会長	鈴木 弘子さん	近藤 和美さん
書 記	神谷 奈己さん	杉浦 陽子さん
監 査	近藤 和喜子さん	岡山 直樹先生 (10名)

まず、3年間のPTA活動を振り返り、楽しかったこと苦しかったことなど感想をお願いします。

山本 長いようで短かく、一生懸命青春したという感じです。皆さんと仲よくなって、とてもよかったと思いました。



山本 千枝子さん

近藤 (和喜子) みんなで活動することの良さや大変さを感じました。学校の様子もよくわかり、もう一度学校生活を体験するような楽しい3年間でした。

天野 出られない集まりなども多く、皆さんに負担をおかけして申し訳なかったです。忙しくも楽しく、充実した日々を経験させていただきました。



天野 顕子さん

杉浦 (陽子) 先生方や皆さんが頑張っているのので、できるだけ参加しようと思っていました。自分自身も成長でき、貴重で楽しい3年間でした。卒業がさみしく感じます。



杉浦 (修二)

皆さんがしっかり活動してくださって、私は何の心配もなく対外的な活動に集中できました。反省もありますが、やらせていただいてよかった、いい皆さんと巡り合えたと思います。



杉浦 修二さん

杉浦 (修二)

息子は、保育士の夢を叶えるために入学しました。公立の高校とは違い、専門的な授業を受けられること、そして夢に向かうための具体的な道すじや進路を示してくださったことで、夢に一步近づけたと思います。最高の高校にお世話になったと思っています。

近藤 (和喜子)

3年間の自主活動でたくさんの方に出会い、大学もそうした経験を活かすような専攻を選び、一生の進路の準備となったのかなと思います。

山本

実行委員として活動し、友だちもでき、自分で考えて行動できるようになりました。周囲を見てみんなの考えを理解するなど、集団行動の中で得ることが多かったのではと思っています。



次に、お子さんが安城学園高等学校に入学して、どのような感想をお持ちですか。

鈴木 娘は女子サッカー部に入部し、厳しさや環境の変化に悩んだこともありましたが、辞めることなく続けられ大きな財産になりました。苦しくても頑張る強い心を得られ、とてもよかったと思います。



鈴木 弘子さん

近藤 (和美)

弦楽部でいろいろな経験をさせていただき、東北のことや災害のことなども考えられるようになったと思います。

加藤

吹奏楽を続けるために入学を決め、全国大会にも出場し、満足していると思います。「ここで過ごした3年間ほど、充実した生活はない」と言う言葉を聞いて、とてもよい時間を過ごしたのだなと思いました。



加藤 嘉津代さん

神谷

安城学園高等学校には、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばす環境があると思います。自分はどう行動すべきか、自分らしさを見つけて歩き出した子どもを見て、成長したなと感じています。



神谷 奈己さん

では最後に、1・2年の保護者の皆さんに、卒業するPTA役員としてメッセージをお願いします。

神谷

子どもの学校生活を知ることができ、自分も学校行事に参加することで、子どもと一緒に思い出づくりに参加できると思います。

近藤 (和喜子)

学校へ来る機会が増え、学校や子どもたちの様子がよくわかります。子どもと学校の話ができ、役員をやってよかったと思います。



近藤 和喜子さん

天野

かけがえのない仲間ができました。気負わず、楽しむつもりで、積極的に参加する人が増えるといいなと思います。

加藤

自分にできることはすべてやろうと思って引き受けました。できるときには頑張る、できないときには助け合う、楽しみながら活躍できるので、なぜ皆さん参加しないのかなと思うほど(笑)。参加すれば楽しいよ!と言っています。

杉浦 (修二)

高校生の息子というのは、父親とそれほど会話もない年頃。PTA役員をしていると共通の話題ができ、コミュニケーションが密になるなどメリット盛りだくさんです。お母さん以上にお父さんも、ぜひご参加ください。

